



音楽科

公開授業②

-Challenge to Creative Lessons-

CCL

音遊びを生かした音楽づくり

第2学年 向井 さゆり



1 音楽科における「音楽づくり」の位置づけ

私がこれまで実践してきた「音楽づくり」をふり返ってみると、「歌に合うまほうの音をつくろう」「海の様子を音で表してみよう」などと効果音のような音楽をつくったり、「このリズムに音をつけて旋律をつくろう」など、つけさせたい力が明確にならなかつたりする「音楽づくり」になっていた。そして、「これでいいのか。」という疑問をいつも持っていた。また、「音楽づくり」をしていく際に、つくった音楽をどのように記録しておくのか、机上でリズムカードや音符を並べてはみたものの、実際にそれを演奏するだけの技能が伴わず、最後の達成感を味わえない、という課題も常に持っていた。

しかし、今回の学習指導要領の改訂で「A表現」が「歌唱」「器楽」「音楽づくり」に分けられ、「音楽づくり」が「表現」の中に位置づけられた。「音楽づくり」も日々の積み上げをしてこそ成果が表れるものであるとの位置づけがなされると強く感じた。そして、【共通事項】の新設で学習の進め方や身に付けさせたい能力についても明確に示された。この【共通事項】を基盤として指導内容を整理していけば、これまで私自身が音楽づくりで疑問に思い、課題としていたことを解決に導いてくれるのではないかと思ったのである。さらには、子どもたちに音楽のよさや楽しさに気づかせる手立てとなるのではないかと考える。

2 「音遊び」と「音楽づくり」

低学年の子どもたちに「音楽をつくろう。」と投げかけたとしても、表現のスキルも身につけておらず、活動が成立しないであろう。であるならば、音遊びをすることで、リズムが打てるようになったり、聴いた音の強弱に反応して楽しんだり、まねっこ遊びやふしのやりとりをして「反復」や「問いと答え」などの音楽の仕組みを経験したりと、子どもたちにとっては知らないうちに「音楽づくり」に必要な引き出しを増やしていけるのではないかと考える。そして、その遊びの中で感じたことや分かったことを「音楽づくり」に生かせる、そんな「音楽づくり」を私は目指している。

そこで、指導者として「音遊び」の活動で常に意識しておきたいことが、【共通事項】で示されている音楽の要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和音の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなど）や音楽の仕組み（反復、問いと答え変化など）である。この内容を意図的に取り入れ、子どもたちがその遊びの中から音楽のよさや面白さに気づき、それを生かした音楽づくりをしていくことこそが、指導内容やつけたい力を明確にした「音楽づくり」になると考える。

また、音遊びは、日々の授業の導入など短い時間で行い、それを積み重ねていくことが望ましいと

考える。音遊びを繰り返し行ったり積み重ねたりすることで、スキルの習得にもつながり、音楽を受取る力も育成されることになるであろう。

3 題材「おまつりの音楽をつくろう」

本題材は、複数の教材を扱わず音楽づくりに絞った内容とする。

2年生になって4分音符・8分音符、4分休符・8分休符の名称や拍の長さについての学習を行った。このことを知識理解させることと、表現できるようになることが音楽科でつきたい力の一つである。そこで、①リズム譜を見て表現できる、②言葉のリズムにあうリズムを見つけることができる、という活動を通してリズム譜に慣れ親しんで音楽を表現する力を養いたいと考え、この題材を設定した。自分たちの考えたリズムをリズム譜で書くことは、使える音符が限られていることと、今の子どもたちの実態から判断して取り上げないこととする。

今回の「おまつりの音楽をつくろう」では、第1時に2拍子のリズム譜を見てリズム打ちができるように指導者→子ども→指導者→子ども・・・というまねっこ遊びをしたり、同じリズムを繰り返すリレーをしたりする音遊びをする。第2時では、おまつりの様子を鑑賞し、そこから聴こえてきた音や、様子を表す言葉を考え、第1時で学習したリズムに合うものを探していく。そして、リズムをおまつりに関係のある言葉に置き換えるなどして、おまつりの雰囲気が出るようにしていく。本時では、音遊びで音楽の仕組み「問いと答え」を扱い、その面白さを感じ取らせ自分たちの音楽づくりに生かすようにしていく。その際に、前時に考えた言葉のリズムやリズムカードを用いて、それらを組み合わせるリズム譜をつくっていくようにする。

これまでに行った音遊びの例

- ① 短い歌の一部分の8拍分に言葉を入れて歌い、その言葉を手拍子で表す
- ② 「好きなものはなに」「○○○○○○○○」と「問いと答え」を使った遊び
- ③ 円になって、1拍ずつ手拍子していく遊び（拍の流れにのって）
- ④ 4～8拍のリズムのまねっこ遊び（反復）
- ⑤ ピアノや音楽に合わせて動く（速度、音の高さ、強弱）